

様式例 12 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：令和8年7月7日

評価者：宮前区民間活用事業者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設
施設所在地	川崎市宮前区東有馬4丁目6-1
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
業務の概要	1 生涯学習の振興（市民活動支援を含む）に関する業務 2 施設の運営に関する業務、施設及び設備等の維持管理に関する業務 3 その他施設の管理に関する業務
指定管理者	名称：アクティオ株式会社 代表者：代表取締役 淡野 文孝 住所：東京都目黒区東山1-5-4 電話：03-6894-1350
所管課	宮前区役所まちづくり推進部生涯学習支援課（888-3911）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等																																																																																																																
1	市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	1 利用実績について ●総利用者数 * 1 集会室、第1・2・3学習室、和室、実習室、調理室 * 2 グループ室1・2、フリースペースギャラリー、グループ学習室 <table><tr><th></th><th>有料貸室* 1</th><th>無料貸室* 2</th><th>合計</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>43,493人</td><td>14,380人</td><td>57,873人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>47,383人</td><td>15,784人</td><td>63,167人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>56,501人</td><td>18,057人</td><td>74,558人</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>58,758人</td><td>19,861人</td><td>78,619人</td></tr><tr><td>第4期平均</td><td>51,584人</td><td>17,021人</td><td>68,562人</td></tr><tr><td>第3期 H29～R3 平均</td><td>49,933人</td><td>17,753人</td><td>67,686人</td></tr></table> 毎年度利用者数は増加しており、令和7年度の総利用者数は、約7.9万人となり、コロナ禍前水準の8万人台並みに近づいている。 ●施設稼働率 <table><tr><th></th><th>有料貸室計</th><th>集会室</th><th>学習室</th><th>和室</th><th>実習室</th><th>調理室</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>51.2%</td><td>77.7%</td><td>64.6%</td><td>49.9%</td><td>43.1%</td><td>20.2%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>53.4%</td><td>76.9%</td><td>67.3%</td><td>48.9%</td><td>50.0%</td><td>26.6%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>52.8%</td><td>79.8%</td><td>59.4%</td><td>55.9%</td><td>54.5%</td><td>26.0%</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>53.5%</td><td>82.5%</td><td>60.9%</td><td>57.3%</td><td>50.9%</td><td>27.8%</td></tr><tr><td>第4期平均</td><td>52.7%</td><td>79.2%</td><td>63.1%</td><td>53.0%</td><td>49.6%</td><td>25.2%</td></tr><tr><td>第3期 H29～R3 平均</td><td>52.6%</td><td>83.3%</td><td>44.9%</td><td>57.0%</td><td>46.0%</td><td>21.9%</td></tr></table> <table><tr><th></th><th>無料貸室計</th><th>グループ室</th><th>フリースペース</th><th>グループ学習室</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>55.2%</td><td>40.9%</td><td>30.8%</td><td>68.4%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>57.1%</td><td>38.9%</td><td>37.2%</td><td>71.2%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>63.4%</td><td>41.6%</td><td>44.9%</td><td>78.9%</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>66.4%</td><td>39.7%</td><td>38.2%</td><td>86.8%</td></tr><tr><td>第4期平均</td><td>60.5%</td><td>40.3%</td><td>37.8%</td><td>76.3%</td></tr><tr><td>第3期 H29～R3 平均</td><td>62.16%</td><td>36.3%</td><td>53.4%</td><td>77.8%</td></tr></table> 毎年度概ね利用率は上昇しており、稼働率が低水準にある調理室も令和7年度は約28%となり、コロナ禍前水準の30%に戻ってきている。		有料貸室* 1	無料貸室* 2	合計	令和4年度	43,493人	14,380人	57,873人	令和5年度	47,383人	15,784人	63,167人	令和6年度	56,501人	18,057人	74,558人	令和7年度	58,758人	19,861人	78,619人	第4期平均	51,584人	17,021人	68,562人	第3期 H29～R3 平均	49,933人	17,753人	67,686人		有料貸室計	集会室	学習室	和室	実習室	調理室	令和4年度	51.2%	77.7%	64.6%	49.9%	43.1%	20.2%	令和5年度	53.4%	76.9%	67.3%	48.9%	50.0%	26.6%	令和6年度	52.8%	79.8%	59.4%	55.9%	54.5%	26.0%	令和7年度	53.5%	82.5%	60.9%	57.3%	50.9%	27.8%	第4期平均	52.7%	79.2%	63.1%	53.0%	49.6%	25.2%	第3期 H29～R3 平均	52.6%	83.3%	44.9%	57.0%	46.0%	21.9%		無料貸室計	グループ室	フリースペース	グループ学習室	令和4年度	55.2%	40.9%	30.8%	68.4%	令和5年度	57.1%	38.9%	37.2%	71.2%	令和6年度	63.4%	41.6%	44.9%	78.9%	令和7年度	66.4%	39.7%	38.2%	86.8%	第4期平均	60.5%	40.3%	37.8%	76.3%	第3期 H29～R3 平均	62.16%	36.3%	53.4%	77.8%
	有料貸室* 1	無料貸室* 2	合計																																																																																																															
令和4年度	43,493人	14,380人	57,873人																																																																																																															
令和5年度	47,383人	15,784人	63,167人																																																																																																															
令和6年度	56,501人	18,057人	74,558人																																																																																																															
令和7年度	58,758人	19,861人	78,619人																																																																																																															
第4期平均	51,584人	17,021人	68,562人																																																																																																															
第3期 H29～R3 平均	49,933人	17,753人	67,686人																																																																																																															
	有料貸室計	集会室	学習室	和室	実習室	調理室																																																																																																												
令和4年度	51.2%	77.7%	64.6%	49.9%	43.1%	20.2%																																																																																																												
令和5年度	53.4%	76.9%	67.3%	48.9%	50.0%	26.6%																																																																																																												
令和6年度	52.8%	79.8%	59.4%	55.9%	54.5%	26.0%																																																																																																												
令和7年度	53.5%	82.5%	60.9%	57.3%	50.9%	27.8%																																																																																																												
第4期平均	52.7%	79.2%	63.1%	53.0%	49.6%	25.2%																																																																																																												
第3期 H29～R3 平均	52.6%	83.3%	44.9%	57.0%	46.0%	21.9%																																																																																																												
	無料貸室計	グループ室	フリースペース	グループ学習室																																																																																																														
令和4年度	55.2%	40.9%	30.8%	68.4%																																																																																																														
令和5年度	57.1%	38.9%	37.2%	71.2%																																																																																																														
令和6年度	63.4%	41.6%	44.9%	78.9%																																																																																																														
令和7年度	66.4%	39.7%	38.2%	86.8%																																																																																																														
第4期平均	60.5%	40.3%	37.8%	76.3%																																																																																																														
第3期 H29～R3 平均	62.16%	36.3%	53.4%	77.8%																																																																																																														

(1) 生涯学習支援事業に関する業務

ア 生涯学習支援事業の実施

多世代を対象に、利用者の要望、意見等を踏まえながら、健康、子育て・教育支援、趣味・教養、料理など、多岐にわたる教室・講座・イベントの実施により、選択の幅を広げ、より多くの利用者が参加できるように工夫した。また、受講者アンケートを実施することにより、利用者ニーズを把握し、参加者が興味関心を持つような内容を企画するとともに、乳幼児から中高年まで参加できる新規事業（令和7年度は、「赤ちゃん運動会」「金継ぎ体験」等）を毎年計画・実施して新鮮味を持たせるなど、生涯を通して学習できる場の提供を行った。その結果、総合満足度で78%（令和7年度）となっている。さらに、コンサートの出演者に地元の方を招くなど、地域により密着したイベントを実施した。主催事業の参加人数は、コロナ禍前の水準とほぼ同等になってきており、生涯学習の振興・支援に一定寄与していることが認められる。

	主催事業数	参加人数
令和4年度	46 事業	9,701 人
令和5年度	66 事業	13,562 人
令和6年度	77 事業	16,408 人
令和7年度	77 事業	20,317人
第4期平均	66.5 事業	14,997人
第3期 H29～R3 平均	52.4 事業	12,969人

イ 読書活動の推進（地域図書室の運営業務）

図書館司書の有資格者を配置し、本の選定や寄贈本の受入、月2回の新着本の展開、図書だよりを市内施設等からも情報発信するなど、多様な利用者ニーズに対応できる地域図書室作りを行っている。また、地域図書室の存在をアピールするため、児童や学生向けに春休みや夏休みに「ガチャ」の企画（いわゆる“ガチャ”型の抽選サービス）や、スタンブラリー、ビンゴ企画を幅広い世代を対象として行った。そのほか、毎年社会状況に合わせて特設コーナーを設置するとともに、児童室のレイアウトを変更し、絵本コーナーを充実させ、親子世代の利用促進を図るなど、工夫を凝らした運営にも取り組んでいる。さらに、宮前図書館と連携した取組として、市の図書カードの更新会を行った。

	図書貸出冊数	市立図書館受渡し冊数
令和4年度	92,724冊	34,060冊
令和5年度	94,823冊	30,361冊
令和6年度	89,351冊	31,351冊
令和7年度	88,158冊	29,882冊
第4期平均	91,264冊	31,414冊
第3期 H29～R3 平均	92,456冊	34,016冊

図書貸出数や市立図書館受渡し冊数の減少は、スマートフォン等の普及による電子書籍等の利用のしやすさや、AI技術の急激な進歩により誰もが高度な知識や回答を得られるようになってきたことが一つの要因として考えられるが、地域のリアルな図書室である利点を活かした“本”を通じてのサービス提供を継続する必要がある。

(2) 市民活動の支援事業に関する業務

ア 市民活動支援コーナーのサポート

市民活動支援コーナー運営委員会の事務局として、毎月の運営委員会への出席や新規登録団体の窓口としての問合せ対応、申請手続き、総会案内など、各種事務手続きを支援している。また、メンバー募集等のチラシ作成のサポートや登録団体への印刷代行サービスも好評である。さらに、「市民活動ふれあいフェア」を支援するなど、市民活動と地域との連携に向けた取組を実施した。

イ 市民活動協力事業の実施

市民活動協力事業は、市民活動団体やボランティア団体が行っている活動を有馬・野川生涯学習支援施設との共催事業として実施する事業で、事業ポスターの作成・配布、ホームページでの情報発信を行うとともに、広報・集客活動や開催場所の優先予約の受付など、様々な支援を行うことで事業が円滑かつ確実に実施されるよう取組を行った。令和7年度は、「第10回市民活動ふれあいフェア」や「歌おう会」等を実施した。年間の事業実施数は、コロナ禍前の水準に近づきつつある。

	実施事業数
令和4年度	3事業
令和5年度	4事業
令和6年度	4事業
令和7年度	6事業
第4期平均	4.3事業
第3期 H29～R3 平均	8.2事業

ウ こども食堂の開催

平成29年度から開始したこども食堂は、地域のボランティアの方々との協力のもと、月1回実施し、令和7年度末で通算113回を開催した。地域の仲間とのコミュニケーションの場として親子参加のほか、高齢者も料理の配膳や子供たちとの会話などを楽しむ場として参加するなど、多世代交流の場としても好評で、毎回ほぼ満員の状況となっている。また、それに伴い、年々調理室の利用率が増加傾向で、令和7年度の調理室の利用率は27.8%となり、コロナ禍前利用率30%に近づいている中で、調理室の更なる利用率向上に向けて、パン教室や男子ごはん部等の取組を実施している。

(3) 施設の運営に関する業務、施設設備及び備品等の維持保全に関する業務

ア 職員一人ひとりが施設内の多種業務（施設管理、図書室等）をこなせる体制を採用するなど、マルチ化を定着させたことにより、図書館担当者が窓口や駐車場対応に入る等、効率的に業務運営をすることができた。また、接遇力の向上を目的とした研修会に令和7年度は年2回合計17人が積極的に参加し、得られた知識を情報共有することで、職員全員がスキルアップし職務遂行に活かすことができた。

イ 施設の運営、施設・設備等の維持・管理業務について、仕様書通り、毎月1回、定期的に保守点検を実施した結果、施設管理・運営に起因する大きな事故等の発生はなく、令和7年8月末から発生した3階空調の不具合の際も、団体の利用予約を有料室から無料室等へ移動する調整を行うなど、適切な対応を行った。

備品等の維持保全については、特に問題なく管理されている。

		ウ 館内清掃について、定期的の実施している。特に、床については剥離清掃を定期的に行うことにより美観を保っている。アンケート結果では高い満足度を得ている。 エ 公共施設の有効活用施策として、建設緑政局の推進するシェアサイクル事業に協力した。 オ 令和7年度から、環境局の「ちょこ涼」の場として1階スペースの提供を開始し、施設利用者の待合せでの活用や、近くのバス停での待ち時間を涼しく過ごす地域の方もいた。 (4) その他施設の管理運営のために必要な業務 概ね仕様書どおり適正にサービスが提供されている。 2 評価について 概ね仕様書に定めた業務を履行しているほか、①通算で113回を迎えたこども食堂、②年間77以上の事業を行いつつ地域において指導者・ボランティアの育成を行っていること、③図書室の利用促進に向けた各種イベントの実施や趣向を凝らした手作りガチャ景品を作成した企画の実施等を行い、また利用者や利用率もコロナ禍前の水準に戻ってきており、近隣地域に根付いた施設として、質と量の両面において十分なサービス提供を行っている」と評価できる。
2	当初の事業目的を達成することができたか。	1 達成状況について 利用実績について、上記2-1に記載のとおり、施設の設置目的である「市民の主体的な学習活動の支援、生涯学習の振興を図り、活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」という役割を十分に認識し、公平・公正な運営と利用者サービスの提供を行っている。幼児から高齢者まで、誰もがいつでも学ぶことができ、また、地域コミュニティの核として、生涯学習活動を通じて人々のふれあいや地域活動の活性化を図る施設としての役割が求められている中で、「太極拳教室」や「おはなしかい」等、利用実績や利用者ニーズを把握した効果的な事業を実施するなど、民間のノウハウを活用し、多様化する市民ニーズに迅速、的確に対応している。 収支実績について、毎年の最低賃金上昇に伴い人件費は年々増加しており、支出の負担が増加しているが、業務体制の改善、委託業務の見直し及び事業数の増加等により収益確保を図るなど、効果的・効率的な施設運営を行っている。 2 評価について 施設の設置目的を十分に認識し、公平・公正な運営と良質な利用者サービスの提供を行い、3期の実績や他市での管理運営経験等のノウハウを活用しながら、利用実績や知識、教養、文化、運動、健康等の利用者ニーズを踏まえた効果的な事業の実施により生涯学習の振興に貢献している。また、コロナ禍の厳しい時期を超えて事業を継続した努力と、コミュニケーションや連携を確保しながら、核となる地域の団体・人材を育成しており、事業目的は達成されている。
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	1 安全・安心に関する取組について 定期清掃、保守点検時には職員が立会い、機材のチェックを行うなど、状況に応じた迅速で適切な対応を行った。また、安心・安全・快適を基本に、定期点検を計画的に実施し、故障・トラブルの予防を行うなど、適切な維持管理を行った。 令和7年夏に発生した3階空調不具合については、機器内部の冷媒ガスの不具合であり、通常点検では発見が難しい場所であった。機器の設置から15年以上が経過しているため、予想される不具合箇所の重点的な点検と部品交換について、宮前区役所と教育委員会事務局が連携して整備を進めている。

		イベント等の利用者が多い場合は、職員を増員するなど安全を優先させるとともに、夜間における警察署へのパトロール強化の依頼など、対策を速やかに行い、利用者が安心して施設を利用できるよう管理運営を実施した。 2 感染拡大防止について 新型コロナウイルスへの対応については、第3期指定管理期間より引き続き令和4年4月から令和5年5月7日までの緊急事態宣言下において、新型コロナウイルスに関する各種情報を迅速に提供するとともに、自主事業によるイベント・講座等の一部中止など感染拡大防止対策に十分配慮した施設の運営を行った。 緊急事態宣言の終了と5類移行が実施された令和5年5月8日以降は、感染防止と安全安心に十分配慮しながら施設の運営とイベント・講座等の開催等に取り組んだことにより、令和5年度には自主事業の開催数はコロナ禍前の水準まで回復し、令和6、7年度にはさらに増加している。 3 評価について 防火管理者を設置し、消防法に基づく消防訓練を年間2回実施している。また、普通救命救急講習の受講やAEDの取扱いに関する研修会の開催など、施設の管理・運営を行う上で必要な知識を持つ職員の育成、配置を実施しており、安全・安心への取組は適正である。 感染対策については、引き続き手洗い、換気の徹底やマスク着用の呼びかけなどを適切に実施している。
4	更なるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。	令和4年度から7年度の4年間は、各年度評価等の結果、順調に指定管理業務を実施することができたが、さらなるサービス向上のための今後の課題や改善策は次のとおりである。 ① 野川地区の住民の利用率が低いことについて、野川地区へのアウトリーチ事業企画を増やし、コンサートや健康体操を同地区の学校等をお借りして実施する等、より一層の広報等を行い施設の認知度向上を図る必要がある。 ② 地域図書室の貸出冊数がここ数年減少傾向にある点について、蔵書数や、閲覧スペースの利用環境に係る市民向けアンケートを実施し、意見聴取を行うなど、改善に向けた取組を進める必要がある。 ③ 調理室と実習室の利用率を上げるため、利用目的の見直しと利用者ニーズ等を踏まえた新たな企画を検討する必要がある。

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	有馬・野川生涯学習支援施設館長と指定管理者の本社職員を含めた定例会議を月例で開催し、「利用実績」、「事業の実施状況」等の状況及び意見・要望等に対する対応などについてモニタリングを実施している。 事故等があった場合は、迅速かつ適切に対応し、速やかに所管課に報告するよう指導するとともに、状況により現地確認を実施するなど、問題解決を図るための指示等を適切に行っている。
2	制度活用による効果はあったか。	1 サービス面 2-1-1の利用実績の状況、2-1-2の評価のとおりに、指定管理者が持つ民間ノウハウを活かし、図書館司書のような専門的人材を確保した上で事業を行っている。また、ご利用後のアンケート、窓口でのご相談や年1回の利用者アンケート等により、利用者ニーズを把握し、利用者が安全安心に生涯学習活動に取り組めるよう施設管理・事業運営を行い、指定管理業務や自主事業等を実施している。施設の稼働率も、指定管理者のこれまでの3期の実績や他市での管理運営経験のノウハウ等が生かされることで、年々増加傾向であることから、指定管理を継続することが施設運営等

		に有効であり、生涯学習及び図書に関する専門的な知識・経験を有する人材を確保できる指定管理者制度導入は効果が高いと考える。 利用者アンケートでの職員・スタッフの接客態度が、80（令和6年度）→76（令和7年度）%と低下したが、その後、改善に向けて接遇研修を行い、フォローの取組を行っていることは評価できる。 2 コスト面 毎年の最低賃金上昇により人件費が厳しい状況の中、自主的な勉強会を開催するなど、スキル向上を図った結果、職員全員が各業務について、マルチに対応できるようになり、業務の効果的かつ効率的な施設運営につながった。コスト面からも指定管理者制度導入に問題点はない。 単位 千円 <table><tr><th>年 度</th><th>第3期平均</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>第4期平均</th></tr><tr><td rowspan="4">収 入</td><td>指 定 管 理 委 託 料</td><td>43,054</td><td>46,800</td><td>46,800</td><td>46,800</td><td>46,800</td><td>46,800</td></tr><tr><td>利 用 料 金</td><td>5,017</td><td>5,036</td><td>4,940</td><td>4,921</td><td>4,837</td><td>4,934</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>4,385</td><td>4,895</td><td>5,225</td><td>5,781</td><td>6,403</td><td>5,576</td></tr><tr><td>収 入 計</td><td>52,456</td><td>56,731</td><td>56,965</td><td>57,502</td><td>58,040</td><td>57,310</td></tr><tr><td>支 出</td><td>52,271</td><td>55,644</td><td>59,331</td><td>57,502</td><td>59,607</td><td>58,021</td></tr><tr><td>収 支</td><td>185</td><td>1,087</td><td>△ 2,366</td><td>0</td><td>△ 1,567</td><td>△ 711</td></tr></table> ●収 入 収入は、集会室、和室、調理室等の稼働率増加により、増加傾向になっている。 ●支 出 経費の約76%を占める人件費(19%増)、光熱水費(7%増)、委託料(6%増)がそれぞれ大幅に増加しており厳しい状況となっている。 ●収 支 収入が大きくは伸びない中で、物価高騰や人件費の上昇により厳しい運営が続いており、令和5年度と令和7年度は赤字決算となっている。	年 度	第3期平均	R4	R5	R6	R7	第4期平均	収 入	指 定 管 理 委 託 料	43,054	46,800	46,800	46,800	46,800	46,800	利 用 料 金	5,017	5,036	4,940	4,921	4,837	4,934	そ の 他	4,385	4,895	5,225	5,781	6,403	5,576	収 入 計	52,456	56,731	56,965	57,502	58,040	57,310	支 出	52,271	55,644	59,331	57,502	59,607	58,021	収 支	185	1,087	△ 2,366	0	△ 1,567	△ 711
年 度	第3期平均	R4	R5	R6	R7	第4期平均																																														
収 入	指 定 管 理 委 託 料	43,054	46,800	46,800	46,800	46,800	46,800																																													
	利 用 料 金	5,017	5,036	4,940	4,921	4,837	4,934																																													
	そ の 他	4,385	4,895	5,225	5,781	6,403	5,576																																													
	収 入 計	52,456	56,731	56,965	57,502	58,040	57,310																																													
支 出	52,271	55,644	59,331	57,502	59,607	58,021																																														
収 支	185	1,087	△ 2,366	0	△ 1,567	△ 711																																														
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	生涯学習に関わる支援活動について、充実したサービスを提供しており、2-1-2で評価したとおり施設の設置目的を達成しているが、当該施設は開館から17年を迎え、今後、施設等の修繕や空調等の大規模改修が想定されるほか、太陽光パネルの劣化、屋上防水層や給排水バルブの劣化状況確認等が必要な時期と考えられるため、修繕・工事の実施方法や経費等について適切な検討及び指定管理者との調整が必要である。																																																		
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	平成21年度の開館から、生涯学習支援と市民活動を支援する施設として、指定管理者制度による施設管理運営を行ってきた。5年間の指定管理期間中は、中期的な計画による運営が可能となり、民間企業である指定管理者は、社会情勢を踏まえながら、工夫を凝らした施設運営を行っており、費用対効果や経費削減等のコスト面、施設管理や事業の専門面及び民間のノウハウを活かした効率面でも効果的であると考ええる。 現在の指定管理者についても、新規事業や多世代交流できる事業、地域と連携したイベントや市の事業との連携等を実施するとともに、地域の活動団体の育成・支援にも取り組むなど、創意工夫しながら施設運営を行っている。これらの状況から、引続き指定管理者制度を活用して、地域に密着した形で運営を継続していくことが効果的かつ効果的であると考ええる。																																																		

4. 今後の事業運営方針について

有馬・野川生涯学習支援施設の「地域における市民の主体的な学習活動の支援を行うことにより、生涯学習の振興を図り、もって個性豊かで活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」という設置目的を達成するためには、幼児から高齢者まで誰もが気軽に学べる場として、市民に愛され、楽しまれ、情報を発信していく拠点として、柔軟な施設運営が求められるとともに、効果的・効率的に事業を実施していく必要があり、指定管理者のこれまでの実績や他市での管理運営経験のノウハウを活かし、施設の利用率や利用人数が向上している実績も踏まえ、指定管理者制度の継続が望ましいと考える。

また、利用者の高齢化や野川地区への生涯学習の提供の課題については、アウトリーチ事業を増やすことを検討するなど創意工夫することで、地域の若い人たちや子育て世代等が気軽に立ち寄れる居心地の良い魅力ある施設づくりにつなげていく。

今後も、地域に根付いた生涯学習拠点として、民間事業者のノウハウを最大限に活用しながら、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、市民の主体的な学習活動や、市民活動の活性化に向けた支援策等を行っていく。